

令和5年度
事業報告書

自 令和 5年4月 1 日
至 令和 6年3月31日

社会福祉法人大阪府家内労働センター

目 次

1 組織体制	4
1) 組織図	
2) 体制	
2 本部業務	4
1) 会議等	
2) 勝山1丁目の土地購入	7
3) 消防・避難訓練等	
4) 貯水槽清掃作業	
5) 健康管理	
6) 助成金等	
7) 職員研修	
8) その他	9
3 公益事業	
1) 大阪府認定内職あっせん所運営指導事業	10
2) 在宅ワーク共同受注事業	
3) 重度障がい者家内労働援助事業	
4) 在宅ワーク支援事業	11
4 障害福祉サービス事業	14
1) 就労継続支援B型	
(1) 経営理念	
(2) 基本方針	
(3) 日常支援活動	
(4) 就労支援活動	16
(5) 福利厚生活動	17
(6) 健康管理	18
(7) 地元関係機関・団体等との連携・交流等	19
(8) 土・日・祝日の開所	20
2) 就労移行支援	21
3) 就労定着支援	
5 JOIN(じょいん)PR活動の取組	22
6 地域貢献の取組(再掲)	
7 土地購入及び新築、移転事業	23

令和5年度 事業報告

1 組織体制

1) 組織図

理事会 ——— 評議員会
理事長 ——— 事務局

JOIN(じょいん) — 就労継続支援B型、就労移行支援、就労定着支援

2) 体制 (令和6年3月31日現在)

役員 理事 6名、監事 2名

評議員 7名

会員 正会員11名

賛助会員 法人会員7法人、個人会員16名

職員 14名

事務局長 1名

総務課長 1名、在宅ワーク電話相談員(非常勤) 1名

施設長 1名、

施設課長(兼サービス管理責任者) 1名

主任支援員(常勤) 3名

支援員(常勤) 2名

// (非常勤) 4名

(再掲 精神保健福祉士1名、社会福祉士2名、介護福祉士2名、准看護師1名、社会福祉主事2名)

2 本部業務

1) 会議等

令和5年度第1回理事会

年月日	審議事項・報告事項	出席者
令和5年5月24日 (水)	審議事項 - 令和4年度事業報告について - 令和4年度決算報告について - 令和4年度会計の監事監査結果について - 理事候補者の推薦について - 監事候補者の推薦について - 理事及び監事の報酬等の額について - 社会福祉充実残額の算定及び承認社会福祉充実計画の継続について - 職員給与規程の改正について - 経理規程の改正について - 定時評議員会の開催日時等について 報告事項 - 職務執行状況について(理事長、常任理事)	理事5名 監事2名

	2 運営規程(就労移行支援、就労継続支援 B 型及び就労定着支援)の改正について 3 上汐会館の動向について 4 令和5年度賛助会員の募集について 5 被服の寄贈を受けたことについて 6 今後の予定について	
--	---	--

令和5年度第2回理事会

年月日	審議事項・報告事項	出席者
令和5年6月7日 (水)	審議事項 1 理事長及び常任理事の選定について	理事5名 監事2名

令和5年度第3回理事会

年月日	審議事項・報告事項	出席者
令和5年10月5日 (木)	審議事項 1 令和5年度事業計画の追加及びその収支予算について 2 土地・建物取得積立金の取崩しについて 3 評議員への説明会の開催について 報告事項 1 職務執行状況報告について(理事長、常任理事) 2 上汐会館の動向について 3 今後の予定について	理事5名 監事2名

令和5年度第4回理事会

年月日	審議事項・報告事項	出席者
令和5年11月1日 (水)	審議事項 1 令和5年度上半期における事業実績及び決算状況について 2 令和5年度補正予算について 3 土地購入及び施設建築等事業の進捗について 4 在宅ワーク支援事業等の今後の考え方について 5 職員給与規程別表に定める初任給基準表の改正について 報告事項 1 職務執行状況報告について(理事長、常任理事) 2 今後の予定について	理事5名 監事2名

令和5年度第5回理事会

年月日	審議事項・報告事項	出席者
令和6年3月22日 (金)	審議事項 1 土地購入及び新築、移転計画の進捗について 2 令和5年度補正予算について 3 令和6年度事業計画について 4 令和6年度収支予算について 5 理事候補者の推薦について	理事5名 監事2名

	6 公益事業の廃止及び追加について 7 定款の変更について 8 就業規則及び職員給与規程、非常勤職員就業規則並びに嘱託員就業規則の改正について 9 施設長の任命について 10 団体役員賠償責任保険補償制度の加入について 11 令和6年度第1回臨時評議員会の開催について 報告事項 1 職務執行状況報告について(理事長、常任理事) 2 就労定着支援 B 型の定員変更について 3 運営規程の変更について 4 上汐会館の動向について 5 今後の予定について	
--	---	--

定時評議員会

年月日	審議事項・報告事項	出席者
令和5年6月7日(水)	審議事項 1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度決算報告について 3 令和4年度会計の監事監査結果について 4 理事の選任について 5 監事の選任について 6 理事及び監事の報酬等の額について 7 承認社会福祉充実計画の継続等について 報告事項 1 令和5年度の事業計画及び収支予算について 2 上汐会館の動向について 3 今後の予定について	評議員6名 理事5名 監事2名

評議員への土地購入等にかかる事業の説明会

年月日	審議事項・報告事項	出席者
令和5年10月11日(水)	説明事項 1 土地の購入及び資金計画等にかかる令和5年度事業計画の追加及びその収支予算について 2 土地・建物取得積立金の取崩しについて 3 上汐会館の動向について 4 今後の予定について ※終了後に現地の視察を実施	評議員4名 理事3名 監事1名 ※欠席の評議員3名には資料説明を実施

監事監査

年月日	監査事項	出席者
令和5年5月16日(火)及び17日(水)	1 令和4年度業務執行及び財産の管理状況等について	監事2名

2) 勝山1丁目の土地購入

- ・令和5年11月21日 土地売買契約書の調印
- ・令和5年12月27日 売買代金の決済、同日付で当法人が所有権を持つ
- ・令和6年 2月16日 独立行政法人福祉医療機構が土地に抵当権を設定
- ・令和6年 3月25日 福祉医療機構から9800万円、また商工中金から1400万円の融資を受ける

3) 消防・避難訓練等

内 容	実施年月日	参加者	備 考
消防用設備等点検	令和5年5月17日(水)	—	令和5年5月19日天王寺消防署に点検結果報告済。
通報、避難誘導、初期消火の各訓練	令和5年8月10日(木)	利用者51名 職員14名 計 65名	自衛消防訓練として実施
地震対応訓練	令和5年9月1日(金)	利用者44名 職員 12名 合計 56名	大阪 880 万人訓練と同時実施。
消防用設備等点検	令和5年11月24日(金)	—	消火器・自動火災報知設備・誘導灯及び誘導標識
通報、避難誘導、初期消火の各訓練	令和6年3月27日(水)	利用者50名 職員 11名 計 61名	自衛消防訓練として実施

4) 貯水槽清掃作業

ビル管理法施行規則第4条2項及び簡易専用水道の規則に基づく清掃を令和5年12月1日(金)に実施した。

5) 健康管理

健康診断の実施 実施日 令和5年7月4日から令和5年8月2日まで
人 数 14名
場 所 医療法人聖授会総合健診センターほか

6) 助成金等

大阪市物価高騰対応支援金 660,000円
大阪府物価高騰対策一時支援金 324,000円

7) 職員研修

施設内研修

実施日	研修会名	参加人数
令和5年7月20日	個人情報保護研修	14名
令和5年12月6日	虐待防止研修	13名

施設外研修

実施月日	研修会名	開催者・場所	参加人数	研修日数	研修内容
令和5年8月29日～令和6年2月29日までの間で5回	BCP(事業継続計画)策定研修会	天王寺区社会福祉協議会	1	5	個々の事業所のBCP策定
令和5年9月22日(オンライン)	大阪市集団指導	大阪市福祉局	1	1	実施指導における指導事項 他
令和5年9月22日	労務事務講習会	大阪府社会保険協会	1	1	労働基準法を知る
令和5年10月16日(オンライン)	大阪市障がい者相談支援研修センターセミナー	大阪市障がい者相談支援センター	1	1	分析力を高めるアセスメントの視点
令和5年10月23日	労務事務講習会	大阪府社会保険協会	1	1	年末調整説明会
令和5年10月30日	就業支援 やるならしっかり講座	大阪市障がい者就業・生活支援センター	1	1	将来を考え、しっかり支援を引き継ぐために
令和5年11月28日(オンライン)	人権・同和問題企業啓発講座	大阪府商工労働部	1	1	公正採用選考と人権 他
令和6年1月18日	成年後見制度について	阪本病院家族SST交流会	1	1	弁護士 東奈央先生 講師
令和6年2月1日	就労支援力向上セミナー	大阪府福祉部	1	1	工賃向上・就労支援好事例

令和6年2月 21日	ゴルゴ松本氏に よる心に響く命 の授業	大阪府社会福 祉協議会	1	1	命の授業(人権研修)
令和6年3月5 日(オンライン)	工賃向上計画 策定のための基 礎セミナー	大阪府工賃向 上計画支援事 業	1	1	工賃向上のための考え方

8)その他

- ・団体役員賠償責任保険補償制度に加入している。
保険期間 令和5年4月1日～令和6年4月1日
- ・新型コロナウイルス感染症発生時における業務計画及び避難確保計画(水害時)の内容確認を行
った。
- ・BCP(事業継続計画)の策定

3 公益事業

1) 大阪府認定内職あっせん所運営指導事業

令和5年度大阪府認定内職あっせん所数 11か所（令和6年3月31日現在）

① 大阪労働局へ委託状況届の提出

12か所（令和6年4月25日付け）

② 大阪府等への自動車税課税免除申請手続き

9か所 延べ14台

③ 家内労働法遵守の周知徹底について

大阪労働局から家内労働法のあらまし等をわかりやすく説明した「家内労働のしおり」の周知依頼があったので、内職あっせん所長宛に「家内労働のしおり」を送付するなど家内労働法の周知徹底を図った。

④ 大阪府認定内職あっせん制度の啓発、及び新規認定申請事業所の開拓

認定制度の問い合わせや内職者を募集している2事業所に対し、訪問や資料送付を行うなど、当該制度のメリットなどを説明した。

また、当センターのホームページを更新し、認定制度について周知した。

2) 在宅ワーク共同受注事業

内職の委託企業から簡単な内職仕事の依頼が寄せられており、在宅ワーク支援ナビへの登録や地元の障がい者施設等への資材提供を行った。

3) 重度障がい者家内労働援助事業

障がい者の生きがいや生活の安定を図るため、作業能力に応じた家内労働資材の集配、作業指導、検品、完成品の梱包、納品を行った。

令和5年度は、和泉市の1名に在宅作業の充実と従事者の生活支援を行った。

4) 在宅ワーク支援事業

① 大阪府との委託契約状況

ア 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間、次の業務について委託契約を締結した。

件名:ホームワークサポート事業

事業内容:ワーカーに対する支援として、仕事発注企業並びに在宅就業情報の収集、提供、電話相談及びマッチング等を行うとともに、在宅就業から一般就労に移行を希望するワーカーへの支援を行う。

② 事業の実施結果

相談件数(令和5年4月から令和6年3月末まで)

相談内容	件数	備考
相談件数	1,753	
仕事紹介	1,513	
仕事発注	111	
仕事内容相談	18	
PS 利用方法	21	
再問い合わせ	0	
トラブル相談	0	
その他	90	

登録件数等(令和6年3月末現在)

項目	件数	備考
ワーカー登録人数	5,084 人	
仕事登録件数	360 件	
企業登録件数	1,237 件	
総募集人数	1,732 人	

マッチング数(令和5年4月から令和6年3月末まで)

	件数	備考
仕事検索数	1,003	100%
成立数	769	76.7%
不成立数	234	23.3%

仕事発注件数・新規分(令和5年4月から令和6年3月末まで)

区 分	件数	備考
仕事発注件数	82	
電話登録	31	
ネット直接入力	25	
その他	26	

アンケート(40歳代までの女性を対象に聞き取り)

相談内容	4～3月計
総件数	1,753
アンケート聞き取り	356
育児中	117
育児中以外	239
現在勤務中	92
現在求職活動中	0
求職活動したい	58
求職活動しない	52
未定	69
無回答	85

一般就労移行サイトの紹介

	4～3月計	
OSAKA 仕事フィールド*	28	
その他一般就労	0	

一般就労移行相談・スキルアップ情報 アクセス件数

相談内容		4～3月計	
一般就労移行相談	就職活用シート	248	
お仕事をお探しの方	女性・ママの方	267	
	障がいのある方	75	
	若者サポート	64	
	中高年の方	91	
	その他の方	43	
再就職に向けてスキルアップしたい	各種セミナー・イベントに参加したい方	55	
	スキルアップ・職業訓練を受けたい方	285	
	障がい者の方を対象とした職業訓練	263	
計		1,391	

③ 保存データの整理

個人情報管理及びデータ整理の必要性から、登録データについて随時整理した。

④ 内職詐欺における警告表示・相談等

ア 登録時の ID 取得確認自動配信メール時に警告文面を掲載し、新規登録者に注意を促した。

イ おおさか在宅ワーク支援ナビ TOP ページに警告文を掲載し被害防止に努めた。

ウ 内職詐欺の電話相談があった場合は、実際被害に遭われたり、遭いそうになっているワーカーには大阪府消費生活センターへの相談を勧める。

エ 賃金の不払いやトラブル等金銭が絡む相談については、大阪労働局労働基準部賃金課を紹介する。

内職を始める際にも、後々、トラブルにならないように最初に話し合いをするなど、家内労働法の啓発に努めた。

⑤ その他

下記の情報サービスに関する各種データについて、更新を行った。

ア 仕事発注の新規登録があった際には、その都度最新のデータを「What's New」にて情報の更新を行った。

携帯サイトにおいては、月1回の新規仕事情報の更新を行った。

イ ワーカーに対するお知らせ(ワーカー削除や年末年始の相談等)の掲載。

4 障害福祉サービス事業（JOIN（じょいん））

事業所番号 第 2711700241 号

1) 就労継続支援 B 型

(1) 支援理念

～社会へ 地域へ 新たな一歩をふみだそう！！～

(2) 基本方針

- ① 利用者一人ひとりの将来を考え、将来を見据えて支援をします。
- ② 利用者を中心に、ご家族や関係機関と連携し、楽しい生活を支援します。
- ③ 利用者の個性に応じた目標を設定します。目標達成に向け、段階的で具体的なサービスを提供します。

(3) 日常支援活動

① 定員 54 名

② 職員配置 配置基準 6 : 1

③ 作業の実施体制

ア 作業時間等 9 : 30～16 : 00 休憩 45 分

但し、コロナ感染症予防対策のため随時時短を実施

イ 作業内容 日用品の組立・袋詰め、文具の袋入れ、レジャー用品・贈答品熨斗付け包装、金属製品（蝶番・ネジ）の組立・袋入れ、種子袋詰めなど

④ 工賃について

ア 取引業者数 17 社（令和 6 年 3 月 31 日現在）

事業収入 令和 5 年度 5,497,768 円

イ 工賃

月額工賃 6,700 円（皆勤出勤の場合）

特別工賃 夏季 10,000 円（皆勤出勤の場合）

冬期 12,000 円（皆勤出勤の場合）

期末 24,500 円（皆勤出勤の場合）

ウ 工賃向上計画

目標工賃 令和 5 年度 8,800 円

平均月額工賃 令和 5 年度実績 10,032 円

⑤ その他日常支援活動

ア 清掃技術の習得

作業場、トイレ、玄関、外回り等を毎日昼食後、全員班編成で清掃を実施している。

イ 三者面談

コロナ感染状況確認のうえ、三者面談を実施。

前期 4 月 10 日～5 月 19 日

後期 10 月 12 日～11 月 10 日（電話等による相談も可能）

ウ 個別日常生活支援（余暇、買物、受診、リハビリ等）

必要に応じて随時実施

エ 社会資源の情報提供及び支援

障がい者基幹相談支援センター等との連携

グループホーム、ケアホームの入居者に対し、支援者との連携を実施

社会福祉協議会と連携し、金銭管理について助言

オ 防災・安全

8月10日（木）自衛消防・初期消火訓練、避難訓練（高齢者等への対応）

9月1日（金）大阪880万人訓練（地震・大津波）

3月27日（水）自衛消防・初期消火訓練、避難訓練

カ 送迎サービス

令和3年10月1日より、新規利用者の通所訓練の補助や、現利用者が身体的・精神的な理由により、単独通所が困難な場合にサービスを提供する。

(4) 就労支援活動

基本方針

～障がい者自らの意欲や能力に応じて働くことができるように支援～

ア. 作業訓練を通じて能力の維持・向上を図る。

イ. 社会人としての挨拶、接遇、マナー、コミュニケーション能力を身につける。

ウ. 利用者自らが職業生活を設計・選択することができるようにする。

エ. 利用者やご家族の意向を尊重し、関係機関、企業等とも連携しながら企業実習、就職活動、短期委託訓練など就労に向けた支援を行う。

オ. 就職者等には、継続して働けるように職場定着支援を行う。

① 就職者等の状況

(R6.3.31. 現在)

	H30 年度		R1 年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度		R5 年度	
就職者(一般企業)	1		1		0		0		0		1	
同(就労継続 A 型)												
計	1		1		0		0		0		1	
離職者	2	24・29 年度就職	2	28・30 年度就職	1	24年度就職	0		1	令和元年 度就職	1	28年度就職
離職理由	雇用契約終了		雇用契約終了		自己都合				自己都合		自己都合	

② 就職者への職場定着支援

平成 30 年度から令和 6 年 3 月末まで延べ 3 名が就職し、就労中は就労定着支援、職場定着支援を実施した。その中には、職場や就職者から連絡を受け対応したケースやジョブコーチと連携支援した結果、離職せずに継続することができたケースがあった。

③ 就職希望者への支援

区 分	人数	実施場所	内容
求職者訓練	1	近商ストア・スーパーアプロ	品出し等
企業面接支援	1	当施設内	企業面接を受けるに際し、履歴書の書き方支援や面接対応の訓練を実施。

(5) 福利厚生活動

活動種目	実施日	参加者	活動内容
お花見会	4月3日	利用者52名 職員14名	上汐公園にてお花見と昼食 新規利用者の歓迎
休日余暇支援	4月22日	利用者18名 支援学校生1名	施設内ボッチャ大会
休日余暇支援	5月20日	利用者26名 OB1名 支援学校生1名	ホットドック作り
社会見学	7月8日	利用者51名	バスツアー「京都:鉄道博物館・水族館」
休日余暇支援	7月29日	利用者23名 OB1名	施設内ボッチャ大会とお弁当
休日余暇支援	8月19日	利用者21名 保護者2名	ゲーム、DVD鑑賞と冷しうどん
利用者誕生会	8月22日	利用者48名	茶話会とカラオケ
休日余暇支援	8月26日	利用者24名	阿倍野防災センター見学とお弁当
芋掘り体験	9月28日	利用者5名	農園(羽曳野市)
休日余暇支援	9月30日	利用者20名	天王寺動物園
芋掘り体験	10月2日	利用者4名	農園(羽曳野市)
JOINフェスタ	11月18日	利用者50名	ゲーム・くじ引き・焼きそばなど
休日余暇支援	11月23日	利用者23名	ゆうあいフェス
休日余暇支援	12月9日	利用者20名	クリスマスフェスタ
JOINお楽しみ会	12月23日	利用者56名 就職者3名	カラオケ・出し物・ゲーム
休日余暇支援	1月20日	利用者19名	施設内ボッチャ大会
休日余暇支援	2月3日	利用者22名	ぜんざいを食べよう
休日余暇支援	3月2日	利用者26名	施設内ボッチャ大会とお弁当
休日余暇支援	3月16日	利用者23名	オレンジコンサート(クレオ大阪中央)
休日余暇支援	3月30日	利用者25名	JOINサンクスデー・防災食試食

※ コロナ感染状況を確認しながら、その都度、実施検討。

(6)健康管理

基本方針:

「職場と家庭における生活リズムを確立し、健康を維持する力を養う。」

活動種目	実施年月日	参加者	概要
制限食昼食弁当の手配	通年	希望者5名	健康診断で食事管理が望ましいと診断されたり、低カロリー食を希望する方に、必要に応じた食事を宅配業者から届けてもらえるよう手配する。
体重測定	通年 毎週木曜日	30名	健康管理・食育研修の一環として、体重測定を実施し経過を記録し、助言する。 (希望者や依頼があった方対象)
食育研修の事前打合せ	4月13日(木)	-	大阪夕陽丘学園短期大学 森教授と令和6年度食育研修の実施・内容の打ち合わせ
食育研修に向けた学生の事前学習	5月10日(水)	短大生17名 森教授	夕陽丘学園短期大学にて、学生に対し食育の事前学習として「障害者理解」のための講義実施(施設長)
食育研修に向けた学生の事前見学	5月8日(水)	短大生14名	JOINへ夕陽丘学園短期大学の学生が来所し、利用者の作業時の様子等を見学する
食育研修の実施	7月5日(水)	利用者49名 短大生13名 森教授	「生活習慣病を予防する食事学習」について研修実施。利用者が学生の助言を受けながら、自分たちの食習慣について学ぶ。
健康診断	8月25日(金)	49名	場所:JOIN施設内(結核予防会の検診車両) 内容:身長・体重・血圧測定・胸部X線・視力・検尿等検査と問診を実施。健康状態の確認を行うとともに、メタボなど生活習慣病の予防と改善を支援
インフルエンザ予防接種	10/30・10/31 11/6・11/7	16名	感染症予防対策の一環として、希望者に対し、近隣医療機関のにしみねクリニックの協力を得て実施

啓発活動(機関紙「すばる」を通じて啓発)

コロナ5類変更に関して	4月	公共交通機関利用時、施設内でのマスク着用の協力依頼
熱中症予防	6月	暑さ対策、エアコン活用、水分と塩分の補給
ウィズコロナ	7月	休養、バランスのとれた食事、適度な運動
大阪880万人訓練(9/1)について	9月	避難経路の確認・災害用伝言ダイヤル
食中毒・感染対策	10月	具体的な対策(食品加熱・手洗い・喚起・マスク着用)
天王寺警察の講話	11月	交通安全ルール
感染症への注意喚起	1月	消毒や手洗い、人込み回避
感染症とヒートショックへの注意喚起	2月	手洗いとマスク着用、温度差への対策
ノロウイルスへの注意喚起	3月	食品の加熱と手洗いの徹底

(7) 地元関係機関・団体等との連携・交流等

① 地元関係機関・団体等との連携・交流(イベント等への参加)

ボッチャ審判員体験	8月22日	利用者6名	天王寺区民センター
ふれあい喫茶	7/21・9/15	利用者計20名	桃ヶ丘地区
ふれあい喫茶	第3月曜	利用者計53名	大江地区
ボッチャ交流会	10月13日	利用者15名	天王寺小学校3年生 約90名
天王寺区民まつり	10月15日	利用者29名	バザーと出し物(歌とダンス) 五条グランドにて
ボッチャ交流会	10月29日	利用者13名	地元ジュニアクラブ(真田山スポーツセンター)
ボッチャ交流会	11月8日	利用者30名	YMCA通信制高校生 約15名 区民センター
ゆうあいフェスタ	11月23日	利用者23名	天王寺区社会福祉協議会
区民センタークリスマス会	12月9日	利用者20名	天王寺区民センター
ボッチャ交流会	1月28日	利用者9名	五条地区

② 福祉教育の実践(介護等体験受入)

介護等体験受入	5月8日～5月26日	実習生 12名	大阪芸術大学
---------	------------	---------	--------

③ 現場実習、見学の受入

活動内容	実施年月日	参加者	内容
ア 支援学校からの見学受入れ	①4/3・5/31 12/28・2/13 ②6/26・7/19 ③8/2・3/18	①生野支援学校 4名 ②東朋高等専修学校 2名 ③東住吉支援学校 2名	施設紹介と見学、質疑応答
イ ご家族、関係機関等からの実習受入れ	4/11～15 6/23・6/28	3名	体験実習として作業および日課参加
ウ 障がい者、ご家族の見学受入れ	4/24・6/21 8/7・8/9 10/11	5名	施設紹介と見学、質疑応答

④ その他

ア 支援学校への作業資材の提供	随時	—	支援学校3校(東住吉・生野・思斉)から作業実習資材の提供依頼あり。内職資材提供業者の協力を得て提供。
イ 夕陽丘学園短期大学の学生へ「障がい者理解」について講義(100分)	5月10日	施設長	「障がい者理解」について障がい特性と支援
ウ 地元関係機関、団体に参画	6月14日	施設長	天王寺区施設連絡会へ参加
エ 天王寺小3年生へ「障がいについて」の話(ボッチャ交流の前に)	10月13日	施設長	感覚過敏や視覚優位について、噛み砕いて説明
ウ YMCA通信制高校生へ「障がいについて」の話(ボッチャ交流の前に)	11月8日	施設長	感覚過敏や視覚優位について説明
エ 大阪手をつなぐ育成会「そもそも講座」での講義	1月23日	施設長	「B型事業所の工賃の仕組み」について

(8) 土・日・祝日の開所（レクリエーション活動）

開催日	参加者	内容
4月22日 (土)	利用者18名 支援学校生1名	施設内ボッチャ大会
5月20日 (土)	利用者26名 OB利用者1名 支援学校生1名	ホットドッグ作り
7月29日 (土)	利用者23名 OB利用者1名	施設内ボッチャ大会とお弁当
8月19日 (土)	利用者21名	ゲーム、DVD鑑賞と冷しう どん
8月26日 (土)	利用者24名	阿倍野防災センター見学・体 験と弁当
9月30日 (土)	利用者20名	天王寺動物園
11月23日 (土)	利用者23名 保護者1名	ゆうあいフェスタ メダカ・のり販売
12月9日 (土)	利用者20名	区民センター クリスマスフェスタ
1月20日 (土)	利用者19名	施設内ボッチャ大会
2月3日 (土)	利用者22名 支援学校生1名	ぜんざいを食べよう
3月2日 (土)	利用者26名	施設内ボッチャ大会とお弁当
3月16日 (土)	利用者23名	オレンジコンサート 区民センター
3月30日 (土)	利用者25名	JOIN サンキューデー DVD鑑賞・ゲームなど

※ コロナ感染状況を確認しながら、月1回程度実施。

2) 就労移行支援事業

平成 27 年 10 月 1 日から就労移行支援事業を実施。これにより JOIN（じょいん）は、就労継続支援 B 型に加え、多機能型の運営となる。令和 3 年 9 月 24 日付で指定の更新を受け、令和 9 年 9 月 30 日までの継続となる。

① 事業の内容

定員 6 名

② 実施状況

ア 広報活動の実施

支援学校及び支援機関等に施設紹介パンフレットを送付したほか、支援機関等からの問合せに対応した。

就労継続支援 B 型利用者の三者面談において、ご家族へ説明した。

イ 利用者の状況

利用なし。

3) 就労定着支援事業

平成 30 年 9 月 1 日から事業所指定をうけた。

- ・ 事業所番号 第 2711701009 号
- ・ 指定の有効期間 令和 6 年 8 月 31 日まで

【主なサービス】

就労継続支援等を利用して一般就労に移行した障がい者の就労と生活上のニーズに対して、就労先・家族との連絡調整等の支援を行った。

- ・ 就労に伴う生活課題の把握（月 1 回以上の利用者との定期的な対面支援）
- ・ 就労先への定期的な訪問（月 1 回以上の訪問に努める）
- ・ 把握された生活課題を解決するための家族や就職先などとの連絡調整

【職員配置】

基準は、前年度の平均利用者数の数に応じて配置。

- ・ 管理者 1 名
- ・ サービス管理責任者 1 名
- ・ 就労定着支援員 2 名

【支援実績】

利用者 1 名

サービス利用 令和 5 年 10 月 12 日～

5 JOIN（じょいん）PR活動の取組み

JOIN（じょいん）の利用者獲得のため、施設のPR活動に努めた。

昨年度に続き、施設PR用チラシを作成し、訪問などのPR活動を行う。訪問時には当施設の就労支援活動やその結果など施設の強み・特徴のPRを行うことや施設見学を促すとともに、訪問先の進路状況や進路決定スケジュール情報を収集する。また、支援学校等の合同説明会に参加し、参加者への個別面談を実施する。

令和5年5月8日のコロナウィルス感染症が5類に変更後は、利用者の了解を得ながら、施設見学等を積極的に受入れ、広報活動の一助とする。

なお、令和2年11月16日からブログを開設する。令和4年1月1日からは正式に施設名を『連合授産場』から『JOIN（じょいん）』に変更し、広報活動と共にPRする。

訪問先	大阪府立支援学校等	6校
	私立高等専修学校	1校
	障がい者相談支援センター他	26か所

来所見学 支援学校在校生とその家族・地域生活者と支援者 合計26人

文書送付	国立・府立支援学校	7校（約1000部）
	障がい者相談支援センター他	約300通

6 地域貢献の取組み

前述「3 公益事業」のほか、「4 障害福祉サービス事業（JOIN じょいん）」の（7）地元関係機関・団体等との連携、交流等」の取組みを行った。

7 土地購入及び新築、移転事業（令和5年度）

○事業内容

現在、施設が立地する土地・建物の賃貸借契約期間は令和8年3月末までである。このため、令和3年度から現在の土地・建物の購入の検討を行ってきた。併せて近隣においてふさわしい移転先を探してきた。

令和5年夏、利用者が引き続き施設利用ができること、及び土地面積、価格などを検討した結果、その要件をほぼ満たす物件が見つかったことから、その土地を購入し新築・移転して施設運営することとした。

○購入した土地

- ・地番 天王寺区勝山1丁目91番57
- ・地目 宅地
- ・面積（公簿）207.64㎡（約62.81坪）
- ・最寄駅 大阪メトロ谷町線 四天王寺前夕陽丘駅から徒歩約10分
- ・価格 1億4千万円
- ・現況 更地

○経過

令和5年11月21日（火）

- ・土地売買契約書を締結。

令和5年12月27日（水）

- ・売買代金を決済。同日付で当法人が所有権を持つ。

令和6年2月16日（金）

- ・土地に独立行政法人福祉医療機構の抵当権を設定した。

令和6年3月25日（月）

- ・福祉医療機構から9800万円の融資を受ける。併せて商工中金から事業経費として1400万円の融資を受ける。
- ・土地に商工中金の抵当権を設定した。

○担保について

- ・福祉医療機構及び商工中金の借入に対する担保として、今回購入した土地に担保設定を行った。その抵当権設定順位は、独立行政法人福祉医療機構が上位で、商工中金が下位である。

○建築の概要

- ・ 建ぺい率 80%、容積率 240%
- ・ 延床面積 635.94㎡
- ・ 建築面積 135.21㎡
- ・ 5階建て、鉄骨造、耐火構造

○施設建築について

- ・ 建築プランの実施設計を進め、令和6年3月末をめどに建築確認申請の提出を行った。(令和6年4月19日付けで確認済証が発行された)

○利用者・ご家族への説明について

- ・ 令和5年10月12日に本人及びご家族あてに書面配布した。併せて利用者に説明を行った。また10月13日と14日の2日間にわたり計3回の説明会を行った。電話での説明を希望された方、及び面談日などに説明してほしいなどの声もあり、適宜対応を行った。

○大阪府との関係について

- ・ 大阪府認定内職あっせん所事業及び在宅ワーク支援事業（ホームワークサポート事業）の実施について随時協議を行い、大阪府認定内職あっせん所運営指導事業は、令和7年2月頃の上汐会館からの引越時点で終了し、在宅ワーク支援事業（ホームワークサポート事業）は、令和6年3月末で終了した。

○公益事業について

令和5年度第4回理事会（令和5年11月1日開催）及び第5回理事会（令和6年3月22日開催）において、4つの公益事業見直しを行なった。

- ・ 大阪府認定内職あっせん所運営指導事業と在宅ワーク共同受注事業

今回の土地購入等事業などを契機として、今後、障害福祉サービス事業に専念する方向性が必要であることから、大阪府認定内職あっせん所運営指導事業と在宅ワーク共同受注事業は、大阪府と協議も行い、令和7年2月頃の上汐会館からの引越時点で終了することとした。

- ・ 在宅ワーク支援事業

委託元の大阪府とも協議を行ない、令和6年3月末で終了することとした。

- ・ 重度障がい者家内労働援助事業

事業対象者の方（1名）に対して、令和6年3月末で事業を終了したい旨を伝え理解を得たので、令和6年3月末で事業終了した。

○収支予算

①資金計画

別紙1のとおり

②土地購入、建築に関する収支予算

別紙2のとおり

③融資及び自己資金について（別紙2参考）

福祉医療機構 土地取得費 9800万円（30年償還、据置36か月、固定金利1.65%、うち0.05%は保証人不要制度の活用による。）

商工中金 つなぎ融資として9800万円を令和5年12月27日に受け（変動金利で利率1.85%、保証人なし）、令和6年3月25日に返済した。併せて事業経費として令和6年3月25日に1400万円の融資（10年償還、据置10か月、変動金利で利率1.89%、保証人なし）を受けた。

自己資金 4200万円

④資産の位置づけ

土地・建物は、当面、基本財産とせず、その他の財産とする。

○今後の予定

令和6年5月1日 工事着工

令和6年5月～令和7年1月 建設工事（9か月）

令和7年2月 引っ越し

【補正後】 土地購入・建築の資金計画(勝山1丁目)

(2024年4月17日現在)

(単位:千円)

支 出	借入金など
建築工事費	補助金・助成金 0
設備備品整備費	機構借入金 293,000
	土地分 98,000
	建築分 195,000
設計管理費	自己資金(積立) 105,000
土地取得費	土地 42,000
	建物 63,000
仲介手数料	自己資金(流動資金) 17,886
登記料	
不動産取得税	商工中金借入金 14,000
経営資金	
合計	合計 429,886

※網掛けは金額確定済

【補正予算分】 土地購入・建築にかかる収支予算
(2024年4月17日現在)

(単位：千円)

	科目	予算額	年度			小計	摘要
			令和5年度	令和6年度	令和7年度		
収入	借入金（福祉医療機構）	293,000	98,000	195,000		293,000	
	借入金（商工中金）	14,000	14,000			14,000	
	土地建物積立金取崩	105,000	42,000	63,000		105,000	
	施設会計からの繰入金	17,886	-4,389	22,275		17,886	
	収入計	429,886	149,611	280,275		429,886	
支出	土地取得	140,000	140,000			140,000	
	建物取得	248,700	0	248,700		248,700	※契約額より 10,000千円の増
	設備備品整備費	1,000		1,000		1,000	
	設計管理費	27,500	4,125	23,375		27,500	
	仲介手数料	4,686	4,686			4,686	
	登記料	1,000	300	700		1,000	
	経営雑費	7,000	500	6,500		7,000	
	支出計	429,886	149,611	280,275		429,886	

経営雑費の500千円は地質調査費と文化財試掘調査代です。